

医学部生命科学科カリキュラム・マップ

2023/4/1

凡例 科目区分 基幹教育必修 基幹教育選択必修 系統生命科学科目 総合生命科学科目 国際生命科学 生命科学特別研究
 (再掲は薄色表示) 基幹教育必修 基幹教育選択必修 系統生命科学科目 総合生命科学科目 国際生命科学 生命科学特別研究

学年		1年生				2年生				3年生				4年生						
区分	学修目標	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
D. 実践	生命医科学研究の発展に寄与するために、絶えず自らを省察し、周囲と協調しながら生涯にわたって学び続けることができる。	基幹教育セミナー		課題協学科目										生命科学特別研究						
	自らが持つ知識と生命医学分野に関する知識と技術を広く社会に還元しようとする事ができる。																			
	研究を通して生命医学分野の発展に貢献しようとする意欲を持つことができる。																			
C. 能力	C-2. 評価・創造(新しい知見の創造)	生命医学分野の論文やプレゼンテーションを理解し、批判的な考察や討論を通して新しい問題の設定ができる。									国際生命科学Ⅱ				生命科学特別講義					
	C-1. 適応・分析(知識・理解の応用)	生命医学分野の研究に必要な機器やソフトウェアを正しく操作できる。	サイバーセキュリティ基礎論										3年次・前期研究室配属		3年次・後期研究室配属		生命科学研究法			
		生命医学分野の研究課題を設定し、解決のために実験等を計画し、実行できる。																		
		個体の反応と病因・病態を解析し、その結果を解釈できる。																		
		生命の構造と機能の理解に基づき、生命現象を解析し、その結果を解釈できる																		
	英語をはじめ母国語以外の言語で、生命科学を理解し、自らの考えを表現できる。	学術英語Aプロダクション	学術英語Bインテグレート	専門英語																
		学術英語Aリセプション	学術英語Bインテグレート	学術英語B CALL																
		言語文化科目(第二外国語Ⅰ)	言語文化科目(第二外国語Ⅱ)	学術英語A CALL																
B. 知識・理解	生命現象や疾患の解明に必要な研究について理解し、説明できる。					基礎生物学	肉眼解剖学	免疫学												
	個体の反応と病因・病態について理解し、説明できる。					人体構造学概論	神経解剖学	寄生虫学												
	様々な疾病を恒常性維持の仕組みの破綻と関連づけて理解し、説明できる。					組織学	発生学	細菌学												
	生体の構造と機能の基本原則を分子レベルから個体レベルに亘って理解し、説明できる。					生理学	生理学	病理学(総論)												
						生化学	生化学	薬理学・臨床薬理学(総論)												
A. 主体的な学び・協働	A-2. 協働	多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたる事ができる。	理系ディシプリン科目		理系ディシプリン科目		精神医学													
	A-1. 主体的な学び	深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	文系ディシプリン科目		文系ディシプリン科目		ジェンダー学													
			基幹教育セミナー		課題協学科目		医学史													
			健康・スポーツ科学演習		課題協学科目															
区分	学修目標	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
学年		1年生				2年生				3年生				4年生						
学士課程の時期区分		導入期				基礎期				発展期				統合期						
アセスメント・プラン		学生の成績評価を総合的に精査する				学生の授業成績、授業評価を総合的に精査する				学生の授業成績、授業評価、配属先研究室からの成績を総合的に評価する				配属先研究室からの成績、卒業論文を総合的に評価する						